

やまぐちっ子学力向上だより

第 9 7 号 H31.1.7
山口県教育庁義務教育課

学力定着状況確認問題の結果から（その1）

県教育委員会では、児童生徒の課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図るため、学力定着状況確認問題を実施しています。

各学校では、今回の結果を参考にして、3学期以降の重点取組等を推進していただきますようお願いいたします。

教科に関する調査結果

◆平均正答率

詳細はこちら <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/kakunin/top.html>

○小学校

	国 語	算 数	社 会	理 科
第4学年	59.9%	57.6%		
第5学年	61.8%	56.4%	63.1%	58.6%
第6学年	59.1%	62.3%		

○中学校

	国 語	数 学	社 会	理 科	英 語
第1学年	67.7%	64.0%			
第2学年	59.3%	50.0%	49.2%	48.4%	54.6%

◆教科の問題結果から見られる特徴

各教科の成果や課題については、以下のとおりです。

小学校

	主な成果	主な課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な漢字を正しく読むこと ○段落の内容を的確に捉え、適切な接続詞の使い方を理解すること ○目的に応じて、中心となる語を捉えること 	<ul style="list-style-type: none"> ●主語と述語の関係に気を付けて、一文を二文に分けること ●文章を引用して書くこと ●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら書くこと ●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要約しながら読むこと
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な四則計算をすること ○比例関係に着目し、正六角形の周りの長さを求めること 	<ul style="list-style-type: none"> ●折れ線グラフの目盛りの取り方を考えること ●割合の内容を理解すること ●問題場面について情報を整理し、理由や方法を説明すること
社会	<ul style="list-style-type: none"> ○地図記号が表している建造物を判断すること ○会話文に関わる適切な資料を判断すること 	<ul style="list-style-type: none"> ●資料から必要な情報を読み取り、読み取った情報をもとに説明すること ●日本の位置を大陸の名称等を活用して、説明すること
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴムのはたらきについて、目的に応じて予想を設定すること ○メダカの生育に適した環境について、理解すること 	<ul style="list-style-type: none"> ●虫めがねで日光を集めたときの明るさと紙の様子について、理解すること ●インゲンマメが育ってしおれた子葉が、種子のどの部分にあたるかを理解すること ●ゴムの働きについて、実験を比較する際の条件を判断すること

多くの成果が見られますが、紙面の都合により、ここでは課題が見られた問題の一部を紹介します。

国語

(小学校4年生)

- 条件等に応じて自分の考えを書くことについて、課題が見られる。
 - ・「歴史」と「気候」の両面から本文中の言葉を使って書く。

_____部には、「先生が発見した化石は、日本列島のれきしや気こうを知るうえでの重要な手がかりになっているのです。」とありますが、くわしく言うと、化石はどのようなことを知るうえでの手がかりになっていますか。次のじょうけんに合わせて書きましょう。

〈じょうけん〉

- 日本列島の「れきし」と「気こう」の両方のことについて、本文中の言葉を使って書くこと。
- 五十字から、七十字までにまとめて書くこと。なお、(、)や(。)も字数に数えます。

【正答例】

氷河時代に日本列島の一部が大りとつながっていたりはなれていたりした時期や、当時の気こうがげんざいとはかなりちがっていたこと。

正答率：11.1%

(小学校5年生)

- 条件等に応じて自分の考えを書くことについて、課題が見られる。
 - ・理由を資料の中から取り上げて書く。

田中さんは、瀧川辨三について次のような紹介文を書きました。 に入る内容を、あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 辨三が、こんなに立ち向かい、努力を続けた人だと思ふ理由を【瀧川辨三について書かれた本の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 「なぜなら、」に続けて、紹介文にふさわしい表現で書くこと。
- 六十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、句読点(、)や(。)や(「 」)も字数にふくむ。

【正答例】

(なぜなら、)会社がとう産しそうになっても決してあきらめることなく、自ら工員として働きながら世界一のマッチに勝てる製品を作るために研究を進め、追求し続けたからです。

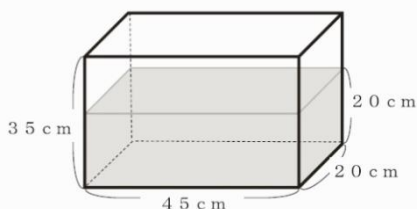
正答率：16.5%

算数

(小学校5・6年生)

- 問題場面について情報を整理し、理由や方法等を説明することに課題が見られる。

4 次の図のような直方体の水そう(数字は内のりの長さ)に深さ20cmまで水が入っています。



水を深さ10cm分増やしたいと思います。そこで、バケツに8Lの水を用意しました。すると、ゆうたさんが、次のように話しました。

深さ10cm分増やすためには、8Lの水では足りないよ。



ゆうたさん

(2) ゆうたさんが、8Lの水では足りないと考えたわけを、言葉や式を使って説明しましょう。

【正答例】 深さ10cm分の水の量は、 $20 \times 45 \times 10 = 9000$ で、 9000 cm^3 です。バケツの水の量は、 $8\text{L} = 8000 \text{ cm}^3$ です。バケツの水の量は、深さ10cm分の水の量より少ないので、足りません。

小5正答率：13.4%，小6正答率：22.5%